

国別技能評価システムの概要
(技能評価システム移転促進事業)

更新日：令和 6 年 9 月 30 日
株式会社 J T B

国名	ベトナム
所管政府機関	Directorate of Vocational Education and Training (DVET), Ministry of Labour, Invalids and Social Affairs (MoLISA) 労働・傷病兵・社会問題省 職業教育訓練総局
技能評価制度	<p>労働・傷病兵・社会問題省は、国家職業技能標準(National Occupational Skills Standard: NOSS)の開発・評価・発行を所掌している。</p> <p>NOSS はコンピテンシー方式であり、国家技能検定は NOSS を構成しているユニットごとに職場での仕事を通して、ユニット内容の達成度を評価して可否を判断するのが一般的であるが、ベトナムでは実施することが難しく、学科試験と実技(作業)試験による総合技能評価方式で国家技能検定を実施している。2021 年 8 月現在、199 職種の NOSS が開発されている。これに基づき、職種ごとの技能検定試験基準や等級等が設定されている。</p> <p>現在の国家技能検定は、「雇用法(2015 年)」、「国家技能証明書の発給・管理に関する規則(2015 年)」、「国家技能評価基準の設定・審査および公布に関する規則(2015 年)」に基づいて実施されている。</p> <p>2011 年に鉱山掘削技術の国家技能検定がベトナムで初めて実施され、同年 12 月までに、メカトロニクス、グラフィックデザイン、鉱山建設技術、鉱山電気設備が実施された。2022 年 8 月現在、溶接、工業電気、工業電子、自動車技術、CNC 金属加工等 61 職種に拡大している。</p>
実施体制	<p>【技能検定】</p> <p>DVET が国営企業や職業訓練校を技能評価センターとして認定し、認定された技能評価センターが国家技能検定を実施している。</p> <p>52 の評価センターが認定され、2022 年 8 月現在、評価者は 1,734 人認定されている。</p> <p>2023 年度は鉱山建設技術、鉱山電気機械技術、鉱山掘削技術、工業電子、情報技術の 5 職種が実施され、受検者は 6,397 人、合格者は 5,838 人であった。</p> <p>2011 年度より 2023 年累計で、41 職種、93,513 人が受検し、80,961 人が合格している。</p> <p>【技能競技大会】</p> <p>2022 年は本来の実施年度ではないが、2021 年と 2 段階に分けて行われ、電工、自動車技術、車体塗装などの 9 職種で、30 団体 104 名の選手が出場し、実施された。</p> <p>2019 年の労働法と 2020 年 5 月 28 日付「首相指示第 24/CT-TTg」の規定により、学生に加え、教師、従業員の参加が可能となり、かつ年齢制限も 15 歳から 60 歳以下に拡大された。</p>

SESPP 支援職種	<p>【技能検定】 旋盤 2 級・3 級、フライス盤 3 級、情報配線施工 2 級・3 級、機械検査 2 級・3 級、シーケンス制御 2 級、機械製図 (CAD 作業) 3 級。なお、SESPP による成果として、2018 年に HIVC (ハノイ工業職業訓練短大) で旋盤、HaUI (ハノイ工業大学) でフライス盤のレベル 2 (日本の 3 級レベル) の国家技能検定が実施された。</p> <p>2015 年度、2016 年度に、フライス盤 3 級学科試験問題集 (真偽法、250 問収録)、旋盤 3 級学科試験問題集 (真偽法、290 問収録) を作成し、その使い方を説明して DVET に提供。</p> <p>2018 年度には、旋盤 2 級学科試験問題集 (真偽法、140 問収録)、フライス盤 2 級学科試験問題集 (真偽法、80 問収録)、旋盤 2 級・フライス盤 2 級学科試験問題集 (四肢択一法、200 問収録) を作成して DVET へ提供。</p> <p>2019 年度に機械検査 3 級学科試験問題集 (真偽法、225 問収録) を作成し、DVET に対してその使い方 (学科試験問題の編成方法) を説明して提供した。</p> <p>2020 年度に機械検査 2 級学科試験問題集 (真偽法、151 問及び四肢択一法、128 問収録) を作成し、DVET へ提供。</p> <p>2023 年度は業界検定として、南部ホーチミンで機械検査 3 級、機械検査 2 級、シーケンス制御 2 級を実施し、機械検査 3 級では新たに 4 名の認定評価者が誕生した。</p> <p>2024 年度は、機械検査 2 級、シーケンス制御 2 級の研修を実施予定。</p>
	<p>【技能競技大会】 2021 年度より支援を開始し、2021 年度はオンラインにより情報ネットワーク施工 (受講者 60 名)、プラスチック金型 (受講者 24 名) の 2 職種の競技課題採点・評価方法セミナーを実施した。</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムにおける技能検定の合格率が高いことで、資格としての価値向上に課題があること、全体の受検者数が政府目標に対し、大きく届いていないことが課題として挙げられた。 累計目標受検者数 600 万人目標に対し、累計受検者数 7 万人。(2022. 6 対象国協議、DVET) ・ベトナムの技能検定において現地日系法人よりもっとものづくりに関連した職種を増やしてほしい、との声があがった。(2022. 6、現地日系法人との意見交換会) ・SESPP 支援職種の国家検定化 (機械検査、機械製図 (CAD 作業)) ・日系企業と連携し、業界検定化を推進する案が提案されている。 ・海外から ODA を受ける際の DEVT による承認手続きの遅れから、業界検定として本事業の研修を実施している。